

# 岐阜市地球温暖化対策推進委員会の 他の活動を一部紹介します

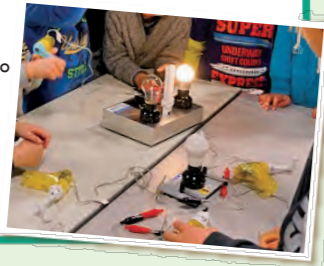
## 出前講座

市内の小中学校、放課後児童クラブ、地区の公民館等で出前講座を行っています。

出前講座の内容は、小学校低学年向けから大人向けまであり、スライドやDVD等を使って地球温暖化の原因と影響、その対策のために自分たちができていることを考えます。

また、地球温暖化の話と合わせて簡単な実験を通して電気が作られる仕組みを学ぶ講座や、排気ガスを出さない車について学ぶ講座なども開催しています。

受講を希望される場合はお気軽にご連絡ください。



## エコワットの貸出

エコワット（簡易型電力量表示器）は、電化製品の電力量や電気料金、二酸化炭素排出量などがわかる計測器です。

使用している電化製品の電力量が目に見えて分かるので、省エネに役立てることができます。

使い方は、コンセントと電化製品のプラグの間につなぐだけ。

個人や学校単位でも貸し出しています。お気軽にお尋ねください。



## 「ぎふ減CO2ポイント制度」

「ぎふ減CO2ポイント制度」は、地球温暖化対策のため、効率的なエネルギーの使用を目的とした市民による省エネ運動です。電気・ガス・水道の使用量削減など、各家庭で二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の排出量を減らすことでポイントが貯まり、貯まったポイントで電動アシスト自転車や図書カード、QUOカードなどの「もっと省エネ啓発品」が当たる抽選に応募できます。

市庁舎、公民館などで配布しているパンフレットでのご応募の他、パソコンやスマートフォンでも簡単に応募できます。ぜひご家族でチャレンジしてみてください。

### もっと省エネ啓発品の一例



### ぎふ減CO2ポイントマイページ

URL <https://mypage.genco2point.com/mypage/>



スマートフォンでQRコードを読み取ると「ぎふ減CO2ポイントマイページ」に移動します

あなたの学校で、環境に関するおもしろい取り組みがあったら、ぜひ教えてください！

### お問い合わせ

岐阜市地球温暖化対策推進委員会事務局(岐阜市 低炭素・資源循環課内)

〒500-8720 岐阜市神田町1-11(南庁舎4階) TEL:058-214-2149(直通)

この印刷物はグリーン購入法に適合した用紙を使用しています

## ぎふエコチャレンジ

令和元年度

# エコスクールレポート



岐阜市内の小中学校における省エネルギーやリサイクル等の環境に関する取り組みを紹介します。みなさんの学校でも地球温暖化の問題について考える「きっかけ」にしてみてください。

あい かわ ひがし  
**藍川東中学校**

**山田川の清掃活動**

藍川東中学校では、毎年6月に、2年生の生徒が芥見東小学校3年生の児童と一緒に、地域を流れる山田川のごみ拾いをしています。小中連携の活動として、35年間続いています。

地域の方々にも、周囲の草刈りや危険なごみを取り除く作業をしていただき、地域一丸となって山田川をきれいに守る活動をしています。拾ったごみは、紙類、ビニール類が多かったようですが、中には竹のザルなどもあったとか。ごみの適切な処理も含めて、これからも川をきれいに保っていききたいですね。



▲川の中はすべりやすいので、中学生が小学生の手を握り、転ばないように注意を払いながら、協力してごみを拾いました。

**アルミ缶・牛乳パックの回収**



◀▲回収のようすと回収されたアルミ缶と牛乳パック

毎週初めの朝、生徒会と各クラスで選任された議員が中心となり、家庭で集めたアルミ缶と牛乳パックの回収をしています。約20年前から続いている歴史の長い活動なので、地域の方も持ってきてくださることがあるそうです。

回収後は、学年別に回収量を集計して発表し、リサイクル業者に売ります。売ったお金で、教科書のファイルや棚を購入したり、本を買って寄付したりしています。



▲後期生徒会長と前期生徒会長のお二人

前の週よりもアルミ缶回収の参加人数が増えると、やっていてよかったなと感じます。これからもっとこの活動への参加者が増えるよう呼びかけていきたいです。

うずら  
**鶉小学校**

**「水の環境」についての学習**

鶉(うずら)地区は、川に囲まれた地域です。今年度、5年生の児童は、1年をとおして総合的な学習の時間に「水の環境」について学びました。授業では、外部講師を迎え、「どうして水が大切なのか」「どうして水が汚れるのか」を学びました。



また、境川にすむ生物を調べたり水質検査をしたりして、「境川をきれいにするためにはどうしたらよいか」をみんなで考えました。



**アルミ缶集め**

5・6年生の「環境委員会」が中心となって、隔週木曜日の朝、各家庭で集めたアルミ缶を回収します。

去年は1年間で350kg回収することができました。集めたアルミ缶を売ったお金は、うずらサミット(児童会執行部とPTA役員の方との意見交流会)で話し合い、一輪車を購入していただくなど、全校児童のために使っています。



いち はし  
**市橋小学校**

**論田川にすむ生き物の調査と学習**

市橋小学校では、5年前から、毎年5年生が川の学習をしています。7月には、土曜授業日に、大和ハウス工業株式会社岐阜支社 地域共生推進委員会の方を講師に招いて、みんなで論田川(ろんでんがわ)の中に入って、どんな生き物がすんでいるのか調べました。

論田川には、昔から日本のその地域の川にすんでいる生き物「在来種(ざいらいしゅ)」のほかに、外国から来た生き物「外来種(がいらいしゅ)」がいることを学びました。外来種や、その地域外の生き物が増えると、その地域の生き物や自然のバランスがくずれてしまいます。生き物を飼うときは責任をもって飼い、勝手に野外に放したり、別の地域から持ってきたりしないようにすることが、地域の自然を守るために大事なのだとわかりました。



▲生き物の持ちようを教えてくださいました。みんなが論田川で見つけた生き物は何かな?



◀生き物は、水草の下にかくれていることが多いそうです。何か出てくるかな?

さい ごと  
**西郷小学校**

**板屋川クリーン作戦と自生ホタルの保護活動・水生生物調査**

西郷小学校区には、板屋川(いたやがわ)という、自生ホタルも生息する、水が豊富(ほうふ)できれいな川が流れています。このすばらしい環境を守るため、毎年7月に、西郷小学校の児童が、保護者や地域の方々、岐北中学校の生徒と一緒に、板屋川の清掃活動をしています。今年は西郷小学校の児童約500名が参加しました。



また、板屋川にすむ自生ホタルについて、4年生の児童が、地元の保護活動をしている方のお話を聞いたり、ホタルの幼虫のエサとなるカワニナの成長を助ける「カキガラ」をまいたりしています。



川の水質について調べるため、板屋川の水生昆虫調査もしました。きれいな水でしかすむことができない生き物がいることがわかりました。貴重な自然を大事にしていきたいですね。

**農業体験(米づくりと大豆づくり)**



5年生の児童が「米づくり」を、3年生の児童が「大豆づくり」を学びます。

J Aの方や地域の方に教わりながら、田植えや稲刈り、大豆の種まきや草取り、収穫(しゅうかく)をして、最後に餅(もち)つきや豆腐(とうふ)作り体験をします。地元で作ったものを食べる、「地産地消(ちさんちしょう)」も身近なエコ活動の一つです。



▲自分たちでつくった「大豆」を使って、豆腐作りをする様子